

案件概要書

2017 年 2 月 28 日

1. 基本情報

- (1) 国名：コンゴ民主共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：首都キンシャサ市
- (3) 案件名：キンシャサ市道路維持管理機材整備計画（Le Projet d' Aménagement des Matériels pour la Maintenance des Voiries dans la Ville de Kinshasa）
- (4) 事業の要約：

本計画は、道路・排水公社（Office des Voiries et Drainage。以下、「OVD」という。）キンシャサ支局に対して道路維持管理機材を整備することにより、キンシャサ市内の都市道路の維持管理状態の改善を図り、もって同国の交通網の利便性向上や社会サービスへのアクセス改善を通じた経済開発に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

コンゴ民主共和国（以下、「コンゴ（民）」という。）は、広大な森林と豊かな水資源を有し、林業・エネルギー産業への潜在力も高い。同国は大湖地域の主要国であり、地理的にサブサハラの中央に位置する同国の安定は、アフリカ全体の安定に直結する。かかる背景の下、同国に対する支援は我が国の資源外交及びアフリカ外交上の意義が大きい。

これまでインフラ大臣、運輸・交通大臣等から歴代の在コンゴ（民）日本大使に対し、道路補修案件の実施に係る要請を受けており、本計画への期待は大きい。元来、コンゴ（民）では、過去に我が国が実施した無償資金協力（道路）の質の高さに定評があり、2015 年 5 月の日・コンゴ（民）経済協力政策協議の際には、二国間で「首都の都市交通マスタープランの策定を進めながら、同市の道路交通分野の協力を進めて行く」方向性が打ち出された。

我が国は TICADVⅥにおいて、都市開発（都市交通の整備等）等の分野等において、アフリカ開発銀行との共同 イニシアティブ（EPSA）も活用しつつ、約 100 億ドル（約 1 兆円）の質の高いインフラ投資を実施する旨表明しており、本計画の実施は同コミットメントの達成に貢献するものである。

- (2) コンゴ（民）における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

コンゴ（民）においては、長年の政情不安に端を発する政府機能の不全、経済活動の停滞、失業等の社会問題、基幹インフラの未整備が深刻な課題となっている。同国の道路舗装率は 2%と低く、道路状況は劣悪である等、運輸インフラ整備の遅延が社会・経済発展を阻害している。同国政府は「第二次成長・貧困戦略文書（2011-2015）」及び「政府 5 ヶ年行動計画（2012-2016）」において、運輸インフラ整備・改修を最優先課題の一つに位置付けており、道路整備（ハード面）及び道路維持管理（ソフト面）を上記課題に対する優先的取り組み事項として位置付けている。

特に、コンゴ（民）の都市道路の45%が集中するキンシャサ市内は、域内紛争避難民の流入等による人口急増を背景に、無秩序な都市化及び居住地の拡大が著しく、道路舗装率は26%（2011年第二次成長・貧困戦略文書）であるが、内戦による道路整備投資の中止や政府の維持管理不足等により、維持管理業務の予算執行率は年間計画の50%に満たず（2015年コンゴ（民）道路維持管理基金）、道路の老朽化や損傷が深刻となっている。その結果、輸送時間及びコストの拡大、病院等の社会サービスへのアクセス悪化、一部の舗装道路への交通集中に伴う渋滞発生等が課題となっている。

コンゴ（民）では、OVDが都市道路の維持管理を担っているが（舗装改良等の大規模工事を除く80%が直営）、ブリガード（維持管理作業担当部局）の保有機材不足（キンシャサ支局の75%のブリガードで不足）、耐用年数超過機材の故障（保有機材の30～40%）等が維持管理の進まない要因となっている（OVD2015年次活動報告）。また、維持管理作業にて補修可能な道路も、上記要因により劣化が進行し、大規模な改修が必要となり維持管理費用の増加につながっている。かかる背景の下、本計画は、OVDに対する維持管理機材の供与を通じ、同市の劣悪な道路状況の改善を目指していることから、コンゴ（民）政府策定の戦略文書及び行動計画を具現化するものとして位置付けられている。

（3）道路セクターに対する我が国の協力方針等と本計画の位置付け

我が国の対コンゴ（民）国別援助方針（2012年）の援助の基本方針（大目標）では2011年に公表された「第二次貧困削減戦略文書（PRSP2）」及び2011年大統領選挙後に発足した新内閣の国家再建に関する5か年計画に基づく政府の取組を後押しするため、人材育成・能力向上、保健・水、運輸交通インフラ等の経済社会基盤の整備を支援することとしている。

また、交通量の増加と施設の老朽化に対応した運輸交通インフラの整備が喫緊の課題であることから、重点分野（中目標）として我が国の高度な技術を要する案件や費用対効果の高い案件に対する協力を通じて、我が国としても同国政府の取組を支援することとしているところ、本計画はこの方針と合致する。

（4）他の援助機関の対応

世界銀行（WB）、欧州連合（EU）、アフリカ開発銀行（AfDB）等が国道や都市道路の補修・改修等を実施。具体的には、WBはキンシャサ市ミリタン通り・ルケング通り等の補修、EUはバンドゥンドゥ州、バコンゴ州等の国道・橋梁・都市道路の補修・改修、AfDBは国道の補修・改修、総合交通マスタープラン策定等を実施している。

（5）本計画を実施する開発政策上の意義

コンゴ（民）では、道路の老朽化が深刻になる中、機材不足から道路の補修が進んでおらず、一部の舗装道路に交通が集中していることから、道路補修に資する協力を実施する優先度・緊急性は高い。また、本計画は、コンゴ（民）の国家開発計画及び我が国の国別開発協力方針に合致し、道路維持管理機材の整備を通じて都市道路の機能強化に資するものであり、SDGsゴール11に貢献するもの。また、我が国はTICADVIにおいて、都市交通の整備等の分野で質の高いインフラ投資を表明し

ており、本計画は同方針とも合致する。また、コンゴ（民）は所得階層分類のうちの「貧困国」に該当し、一人当たり GNI も 410 米ドル（2015 年，WB）と最低水準にあることから、無償資金協力にて本計画の実施を支援する必要性は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本計画は、道路・排水公社（OVD）キンシャサ支局に対し、道路維持管理機材を整備することにより、キンシャサ市内の都市道路の維持管理状態の改善を図り、もって同国の交通網の利便性向上及び社会サービスへのアクセス改善を通じた経済開発に寄与するもの。

② 事業内容

ア) 施設、機材等の内容

【機材】道路補修作業用機材、道路維持管理機材（種類、台数は協力準備調査にて検討する。）

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計・調達監理（ソフトコンポーネント要否は協力準備調査にて詳細検討する。含める場合は既存オペレーターの再教育を想定。）

ウ) 調達・施工方法：詳細は協力準備調査にて確認する。

③ 他の JICA 事業との関係

技術協力「道路維持管理能力強化プロジェクト」（2016-2018）では OVD 及び幹線道路を管轄する道路公社を実施機関として、キンシャサ市及びその近郊のアスファルト舗装道路を対象とした維持管理サイクルの確立や維持管理技術指針の策定、舗装補修技術の指導等を実施中。OVD キンシャサ支局の管理道路延長に対する維持管理機材の整備を通じ、維持管理体制の更なる強化が可能。また上述の「キンシャサ市ポワ・ルー通り補修及び改修計画」の対象道路は OVD キンシャサ支局が管轄しているため、本計画により維持管理体制の強化が図られる。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

実施機関は、OVD の管轄省庁であるインフラ公共事業省（Ministère des Infrastructures et Travaux Publics）。

② 他機関との連携・役割分担

協力準備調査にて詳細確認する。

③ 運営／維持管理体制

整備後の運用・維持管理は OVD キンシャサ支局が担う。詳細は協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

③ 本計画は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。基本的には案件計画

調書別紙「環境社会配慮」②カテゴリ分類の根拠を転記する。

(4) 横断的事項

特になし

(5) ジェンダー分類 ジェンダー対象外案件

(6) その他特記事項

特になし

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

アルメニア共和国向け無償資金協力「エレバン市道路維持管理機材整備計画」の事後評価等（2007）では、整備機材のスペアパーツの発注から到着までに長時間を要し、その間機材を使用できない事例があった。本計画では、調達の可能性や容易さを考慮した機材選定が必要となる。

以 上

[別添資料] 地図

キンシャサ市道路維持管理機材整備計画 地図

図1 プロジェクト対象サイト



図2 プロジェクト対象サイト（キンシャサ市）

